

第1回定時総会

2023 年度



2023 年 1 月 27 日(金)

柴田・大河原・村田・川崎

SINCE 1983

一般社団法人さくら青年会議所



一般社団法人 さくら青年会議所

2023 年度 第 1 回定時総会

と き 2023 年 1 月 27 日（金）

17 : 00 ~ 18 : 15

ところ 総合会館 7F・さくら

次第

1. 開会宣言 ~点鐘
2. 国歌斉唱
3. JC ソング 斉唱
4. JCI クリート 唱和
5. JCIMission 並びに JCIVision 唱和
6. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和
7. 東北 JC 宣言唱和
8. プレゼンテーションス伝達
9. 理事長挨拶
10. 来賓紹介
11. 来賓祝辞
12. 祝電披露
13. 議事
 - 第 1 号議案
 - (1) 2022 年度事業報告承認の件
 - (2) 2022 年度会計報告承認の件
 - 第 2 号議案
 - (1) 2023 年度事業計画（案）承認の件
 - (2) 2023 年度収支予算（案）承認の件
 - 第 3 号議案 定款及び規定変更の件
14. 監事講評
15. 閉会宣言~点鐘

一年を振り返って

第40代理事長 斎藤 優

2022年度を振り返るにあたり、現役会員の皆様、先輩諸兄の皆様をはじめ、多くの皆様のお支えをいただいたことに深く感謝申し上げます。新型の感染症が世界で猛威を振るいはじめてから3年が経ち、地域や環境に様々な変化が起こり、新たな常識が浸透してまいりました。この目まぐるしく変わる環境の中で私たち一般社団法人さくら青年会議所は地域に何かできるかをひたすら考え、困難な状況であっても歩みを進めなければならないという気概を持ち運動を展開していくよう、『勇往邁進 ～まっしぐらにやり通せ～』をスローガンに掲げ一年間活動をさせていただきました。

2022年度は『運動＝まちづくり、ひとづくりにおいて対象となる地域や人びとの考えや行動に変革を与え、幸せを生み出しているかどうか』に重きを置き、1つの会議体と2つの委員会で運動を展開いたしました。1つの会議体は会員拡大会議です。経済状況が厳しく、様々な団体が存在している地域環境の中、会員数の増加は地域に対する私たちの活動の影響力を増幅させ、未来への可能性を広げることにつながると考え33%（5名）の会員拡大を目標として年6回予算をかけない事業を実施いただき、目標の入会人数を達成することができました。

また、地域づくり委員会では、様々な角度から地域の問題を把握し、時代の変化に合わせたまちづくりを行うために、柴田町社会福祉協議会との連携協定を締結し今後も継続的に相互協力できる仕組みを構築いただきました。

そして、青少年育成委員会は子供たちの自己肯定感を高めるために親子を対象とした講演会を実施いただき、その事業が地域の方からの共感を得られ、村田町小中学校父母教師会連合会様より再演、協力依頼が来たことで運動構築ができたと考えております。

結びになりますが、当初思い描いた一年とかけ離れた一年だったと思います。その中でも困難にも負けず挑戦を続けたことは自分自身の成長へとつながっていると確信しております。2022年度を終えるにあたり、会員が少しでも成長を実感し、いつまでも理想を追い求め、自らを高め、夢を抱き、地域を1ミリでもより良くするための行動へうつしていただく事をご祈念するとともに、2022年度関わっていただいたすべての方々と全会員へ心より感謝申し上げ、第40代理事長として最後の言葉とさせていただきます。

一年間、本当にありがとうございました。

一般社団法人さくら青年会議所
2022年度事業報告

2022年度 事務局 局長 大橋 健男

日付	時間	会議／事業名	出席者
12月23日	19:30	第1回三役会	4名
1月12日	19:30	第1回理事会	5名
1月23日	19:30	第2回三役会	3名
1月28日	17:00	第1回定時総会	7名
2月2日	19:30	第1回臨時三役会	5名
2月9日	19:30	第2回理事会	8名
2月22日	19:30	第3回三役会	3名
2月22日	21:00	第1回臨時理事会	8名
3月10日	19:30	第3回理事会	5名
3月19日	13:00	3月例会	10名
3月23日	19:30	第4回三役会	3名
3月23日	21:00	第2回臨時三役会	4名
4月7日	19:30	第4回理事会	6名
4月21日	19:30	第5回三役会	2名
5月6日	19:30	第2回臨時理事会	4名
5月12日	19:30	第5回理事会	4名
5月21日	19:00	5月例会	13名
5月31日	19:30	第6回三役会	3名
6月9日	19:30	第6回理事会	5名
6月23日	19:30	第7回三役会	3名
7月7日	19:30	第7回理事会	6名
7月21日	19:30	第8回三役会	3名
7月25日	19:30	第1回臨時総会	11名

7月28日	19:00	7月例会	10名
8月8日	19:30	第8回理事会	4名
8月15日	19:30	第3回臨時三役会	4名
8月15日	20:30	第3回臨時理事会	4名
8月24日	19:30	第9回三役会	4名
8月28日	9:00	8月例会	7名
9月7日	19:30	第9回理事会	3名
9月22日	19:30	第10回三役会	5名
9月30日	19:00	第2回定時総会	12名
10月5日	19:30	第10回理事会	4名
10月20日	19:30	第11回三役会	4名
11月10日	19:30	第11回理事会	4名
12月10日	18:00	12月例会	10名
12月23日	18:00	第12回三役会	5名
12月23日	18:30	第12回理事会	5名

2022年度理事会報告

専務理事 栗原 嘉徳

2022年度第2回理事予定者会議 2021年11月10日（水）

第1号議案 2022年度理事長所信承認の件について

2022年度第3回理事予定者会議 2021年12月9日（水）

第2号議案 2022年度さくら青年会議所組織図承認の件

第3号議案 2022年度例会担当委員会承認の件

第4号議案 2022年度理事長代行業務承認の件

第5号議案 2022年度役職職務会員承認の件

第6号議案 2022年度賛助会員承認の件

第7号議案 2022年度予算案承認の件

第8号議案 2022年度年間スケジュール承認の件

第9号議案 地域づくり委員会基本方針承認の件

第10号議案 青少年育成委員会基本方針承認の件

第11号議案 会員拡大会議基本方針承認の件

第12号議案 2022年度第1回定時総会承認の件

2022年度第1回理事会 2022年1月12日（水）

第13号議案 理事長承認の件

2022年度第1回臨時理事会 2022年2月22日（火）

第14号議案 仮会員承認の件

第15号議案 2022年度3月例会事業計画及び予算承認の件

2022年度第2回臨時理事会 2022年2月18日（火）

第16号議案 退会者承認の件

2022年度第4回理事会 2022年4月7日（木）

第17号議案 2022年度5月例会事業計画及び予算承認の件

第18号議案 2022年度第1回定時総会補正予算承認の件

第19号議案 2022年度第1回定時総会事業報告及び決算承認の件

2022年度第6回理事会 2022年6月2日（木）

第20号議案 正会員認証承認の件

2022年度第7回理事会 2022年7月7日（木）

第21号議案 2022年度7月例会事業計画及び予算承認の件

第22号議案 2022年度5月例会補正予算承認の件

第23号議案 2022年度5月例会事業報告及び決算承認の件

2022年度第3回臨時理事会 2022年7月21日（木）

第24号議案 2022年度8月例会事業計画及び予算承認の件

第25号議案 2022年度第1回臨時総会承認の件

2022年度第4回臨時理事会 2022年7月25日（月）

第26号議案 2022年度組織図変更承認の件

第27号議案 除名決定通知書承認の件

2022年度第8回理事会 2022年8月4日（木）

第28号議案 2022年度第2回定時総会承認の件

2022年度第12回理事会 2022年12月23日（金）

第29号議案 2022年度3月例会事業報告並びに決算承認の件

第30号議案 2022年度第2回定時総会補正予算承認の件

第31号議案 2022年度第2回定時総会事業報告並びに決算承認の件

第32号議案 2022年度12月例会補正予算承認の件

第33号議案 2022年度12月例会事業報告並びに決算承認の件

第34号議案 退会者について

2022年度会員増減状況

2021年度末	会員数		11名
2022年度末	休会者数		0名
入会者	伊達優介 田中俊男 高橋裕紀 八巻友和 浅野智光		5名
卒業者	斎藤優 栗原嘉徳		2名
退会者	鈴木裕介 齋藤伸一	一身上の都合により 一身上の都合により	2名
除名	菅野勝彦		1名
2022年度末	会員数		11名

一般社団法人さくら青年会議所

2022年度委員会報告書

会員拡大会議 議長 樽見 元太

会員拡大とは、いつの時代も1丁目1番地であると、先輩諸兄より教えられて参りました。本年さくら青年会議所（以下JCIさくら）は、33%達成をするため、年当初より公益社団法人日本青年会議所の委員会、会員発掘会議と共に会員拡大を行って参りました。

会員発掘会議では、どのようにアプローチするか、どのようにメンバーひとり一人に拡大に意識させるかなど、多くの拡大に対する学びを得ることができました。各月にLOMでは、JCの楽しさや全員で行うことの良さを伝えることができ、会員意識を変えることができたと感じております。

本年、拡大に対して、LOMの目標は達成しましたが、会員発掘会議の目標には残念ながら1名届かない結果となりました。しかし、コロナ禍であっても運動の伝播可能であるということがメンバーに伝わったのではないかと考えます。失敗から学ぶことは成功することより多くあり、今後の拡大に繋げてまいります。

一般社団法人さくら青年会議所

2022年度委員会報告書

《 青 少 年 育 成 委 員 会 》

担当副理事長 大橋 健男
委 員 長 平間 俊博
副 委 員 長 濱本 紳吾
委 員 阿部 公人 高橋 裕紀 齋藤 伸一

2022年度青少年育成委員会では子どもたち自身の健全育成と共に親世代にフォーカスした事業の構築や子どもたちが地域社会との交流を通して社会性や協調性を身に付けられるような事業、また、感動体験を通して自己肯定感の向上や地域愛や他者を思いやる心の醸成を図ることなどを基本方針とし1年間がスタートいたしました。しかしながら未だ冷めやらぬ感染症の影響や、会内での予期せぬ事態の処理などの状況により1度のみの事業開催となってしまいました。5月に『toU～想いを伝えよう』と題し親子間のコミュニケーションのあり方や、子どもたちの自己肯定感の向上を着地点と設定し、『強く生きる』をテーマとして内容にLGBTQを盛り込み、講演会という手法で事業開催をいたしました。内容がセンシティブであるため、講演内容や講演者、観覧者側にも心配りや配慮が必要な事業構築ではありましたが、対象の約150人の方々に講演を聞いていただくことができました。委員会メンバーも一丸となり大きな運動発信の場になったのではないかと感じております。また、11月には村田町父母教師会連合会様よりご依頼があり同講演を開催するにあたっての協力をさせていただき、私たちの行動が運動となり伝播されたものと感じております。そして同例会の出席率といたしましても100%例会を達成することができました。回数としては年間1回の事業となりましたが学び多き事業になったと感じております。1年間ありがとうございました。

一般社団法人さくら青年会議所

2022年度委員会報告書

《地域づくり委員会》

担当副理事長 大橋 健男
委員長 栗原 嘉徳
副委員長 津田 政春
委員 伊達 優介 田中 俊男 浅野 智光

本年、当委員会では、柴田郡を一つのまちと捉えたまちづくりに挑戦するために、2回の例会と年間を通して行政及び地域団体との連携を図る事業を計画に上げ1年がスタートいたしました。

3月例会として「あなたの番です！まちの魅力は溢れている」と題し、行政や地域団体とデジタルツールを活用したまちの魅力を発信することを目的に、Instagramで講師活動をされている方をお呼びし効果的な発信方法を学びました。この例会を通して行政や地域団体と定期的な情報交換や連携をしたことによって、これまで以上の協力関係が構築されました。8月例会では「柴田郡未来への想い～手を取り合って」と題し、社会福祉協議会と連携しコインアートや手形アートを開催する予定でしたが、委員会メンバーの思いも届かず中止を余儀なくされました。しかし例会は中止となりましたが、社会福祉協議会と募金活動をともしに行い、災害時における連携協定書の締結式をするなど運動を止めることのない一年だったと思います。

地域づくり委員会は新入会員が3名と多いなか、委員会の出席率はほぼ100%となりたくさんの意見の出し合いや主体的な動きが見え、委員会メンバーが一丸となってやり通すことができました。

2022年度地域づくり委員会を支えてくださいました理事長をはじめとする、さくら青年会議所の皆様、1年間ありがとうございました。

出 向 者		
公益社団法人日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会		
	副会長	樽見元太
みやぎＪＣアカデミー委員会	副委員長	平間俊博
みやぎＪＣアカデミー委員会	幹事	栗原嘉徳
みやぎＪＣアカデミー委員会	委員	伊達優介
みやぎＪＣアカデミー委員会	委員	阿部公人

公益社団法人日本青年会議所

東北地区宮城ブロック協議会

副会長 樽見 元太

2021年、宮城ブロック大会を開催したさくら青年会議所（以下JCIさくら）は、多くの皆様に困難な状況でも共感と学びを伝播することで、宮城ブロックの運動を宮城県内に発信することができました。2022年、宮城ブロック協議会に恩返しとJCIさくらとしての感謝の為、副会長として出向をさせていただきました。

本年は、一般社団法人泉青年会議所（以下JCI泉）の皆様と共に、宮城ブロック大会を通常開催することを目的に邁進して参りました。開催まで、地域性や場所の確保など多くの問題が噴出しておりましたが、その際に委員会にて、一つ一つ確実に問題を解決して参りました。各LOMすべてにご挨拶に伺い、現調、打ち合わせなどで週の3日はJCI泉の事務局にすることが多くなっていました。JCI泉の若いメンバーには泉の人となっていたようです。

委員会、委員長だけに頼らず、私自身、積極的に活動しておりましたが、そのせいでJCIさくらのメンバーにはご迷惑をお掛けしたと感じておりましたが、斎藤理事長を始めとする多くのメンバーに多大なるご支援、激励を頂いたことにより、私は自由に動くことができました。

ブロック大会始まって以来の屋外での開催を行いました。当日、6月にしては、異例の猛暑での開催となりましたが、多くの感動、共感を地域住民、メンバーに伝えることができたと感じております。コロナ禍ではあっても後ろを向くわけでもなく同じ汗を流し、共にたった1回のブロック大会に挑戦していただいたJCI泉の皆様、委員会で朝まで議案書や準備を行ってきた委員会メンバーとはかけがえのない絆を感じております。この経験は、出向をして初めて得るものであり、出向という重役から得られるものであると思います。

本年私が得たものは、知識や仲間だけではなく、気遣いやどう思いを伝えるかなど、心の部分が多く一人の人間としての成長ができたと感じております。

私をお支え頂いた、斎藤理事長を始めとするメンバーの皆様、七海理事長を始めとするJCI泉のメンバーの皆様、委員会をまとめ上げ成功に導いた林屋委員長、そして陰ながらお支え頂きましたJCIさくらOBの皆様、このような機会をいただき、ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所

東北地区宮城ブロック協議会

みやぎJCアカデミー委員会 副委員長 平間 俊博

2022年度みやぎJCアカデミー委員会ではアカデミー生への成長の機会の提供と防災減災プラットフォームの再構築、2つの大きな課題のもと1年間がスタートし、私自身は副委員長としてアカデミー生の成長とリーダーとしての自分自身の成長を自己テーマに設定し、一年間活動させていただきました。1月のアカデミー開校式からスタートし、年6回の委員会事業と各委員会、塾会の中で、リーダーシップや塾生を牽引していく難しさを感じながら過ごした1年間となりました。感染症の影響やオンライン会議の普及などの影響は否定できませんが、塾会や委員会事業の出席率を向上させるにはどうしたらいいのか、出席したい事業とはどのような内容なのかを考え続けました。直接的な会話を基本としたコミュニケーションは重要であり、声だけでも各メンバーの表情を伺い、何を考えどんな思いがあるのか、個々の表情を読み取るということは大切なことなのだという気づきを与えていただきました。2023年度は本年の宮城ブロックでの学びを十分に活かしLOMを牽引できるよう精進してまいります。1年間ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所

東北地区宮城ブロック協議会

アカデミー委員会 塾幹事 栗原嘉徳

本年、公益社団法人日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会アカデミー委員会の塾幹事として出向させていただき、多くの学びを得られたことに斎藤理事長をはじめ私を支えてくださった方々に深く感謝申し上げます。

アカデミー委員会のスタッフ側として出向し、入会間もないアカデミー生のために試行錯誤しながら活動していました。スタッフ側でありながらアカデミー生から学ぶことも多くともに活動でき楽しい委員会だったと思います。

出向しなければ出会うことのなかった仲間との出会い、出向しなければ気づくことのなかったさくら青年会議所の魅力や各地会員会議所の魅力や取り組みなど、改めて出向の醍醐味を感じることができました。

たくさんの貴重な経験をさせていただき、一緒に出向した仲間とかけがえのない時間を共有できたことに心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所

東北地区宮城ブロック協議会

みやぎ JC アカデミー委員会 委員 伊達 優介

2022年度みやぎJCアカデミー委員会では、学びと成長の機会をいただきました。具体的には、大きく2点ありました。1点目は防災減災プラットフォームの再構築です。4月塾会にて現状の長所、短所をまとめ、今の課題等を分析するところから始まりました。5月塾会からは背景、目的、手法の構築方法について学び、6月からはグループディスカッションなどにより実践してくような取り組みを行いました。また7月からは実際に企業様に訪問し、防災減災プラットフォームのアップデートによる協賛の取り組みにうつりました。分析から行動にうつせた良い事例等を経験できたことが良かったです。2点目はメンバーの仲間と交流が図れ、他のLOMの方がどういう取り組みをしているか一人一人を知ることができ、グループで動かしていくという難しさを感じました。2023年度で学んだことをLOMにて持ち帰り活かせるように頑張っていきたいと思います。

公益社団法人日本青年会議所

東北地区宮城ブロック協議会

宮城 J C アカデミー委員会 委員 阿部 公人

2022年度みやぎ J C アカデミー委員会出向のお話を理事長よりいただき、『チャレンジ』を合言葉に1年間取り組ませていただきました。1月の開校式では、講義によって J C としての心構えを改めて感じ、運動の必要性やリーダーシップとはという1年間の活動において重要となる部分を学ばせていただき、期待と希望を胸にスタートしたのが昨日の事のように思い出されます。年6回の委員会事業や塾会においては防災減災プラットフォームの再構築という課題と向き合い、被災地域の人間としてこれからの時代に防災・減災をどういった事業で伝えていけば良いのかを考え、その中で A C F の活用や、パートナーとの連携がとても大切であるとの学びを得られました。又、県内各 L O M のメンバーと活動を共にしていく中で、多くの考え・意見を取りまとめて一つの方向性を示していく難しさを感じると同時に、他の考え・意見を聞くことで得られる事が多くあると気づかせてもらいました。感染症の影響など難しい状況の中で委員長、総括幹事、両塾長・幹事、運営スタッフの方々のサポートによって多くの成長の機会を与えていただき、ありがとうございました。2023年度はアカデミー委員会で学んだ事を L O M での活動に活かして、更なる『チャレンジ』に取り組んでまいります。

第14期

財 務 諸 表

自：令和 4年 1月 1日
至：令和 4年12月31日

〒989-1201

宮城県柴田郡大河原町大谷字五百地丁 9 番地の 2

一般社団法人 さくら青年会議所
(法人番号:2370105001549)

理事長 斎藤 優

貸借対照表
令和 4 年 12 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	834,883	1,037,430	△ 202,547
流動資産合計	834,883	1,037,430	△ 202,547
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	132,169	152,443	△ 20,274
リース資産	246,400	338,800	△ 92,400
その他固定資産合計	378,569	491,243	△ 112,674
固定資産合計	378,569	491,243	△ 112,674
資産合計	1,213,452	1,528,673	△ 315,221
II 負債の部			
1. 流動負債			
リース債務	92,400	92,400	0
流動負債合計	92,400	92,400	0
2. 固定負債			
リース債務	161,700	254,100	△ 92,400
固定負債合計	161,700	254,100	△ 92,400
負債合計	254,100	346,500	△ 92,400
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	959,352	1,182,173	△ 222,821
正味財産合計	959,352	1,182,173	△ 222,821
負債及び正味財産合計	1,213,452	1,528,673	△ 315,221

正味財産増減計算書

令和 4年 1月 1日 から令和 4年 12月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金			
新入会員受取入会金	50,000	10,000	40,000
受取会費			
正会員受取会費	1,025,000	1,000,000	25,000
新入会員受取会費	450,000	25,000	425,000
休会会員受取会費	0	50,000	△ 50,000
特別会員受取会費	0	0	0
賛助会員受取会費	500,000	680,000	△ 180,000
受取会費計	1,975,000	1,755,000	220,000
事業収益			
事業収益	0	575,000	△ 575,000
受取寄付金			
受取寄付金	54,218	6,587	47,631
雑収益			
受取利息	1	17	△ 16
経常収益計	2,079,219	2,346,604	△ 267,385
(2) 経常費用			
事業費			
諸謝金	70,000	0	70,000
会場設営費	110,270	309,350	△ 199,080
企画・演出費	29,177	233,381	△ 204,204
講師関係費	6,480	25,760	△ 19,280
資料作成費	3,080	13,800	△ 10,720
広報費	74,836	0	74,836
参加記念費	17,620	0	17,620
通信費	8,760	10,500	△ 1,740
雑費	320	660	△ 340
事業費計	320,543	593,451	△ 272,908
管理費			
福利厚生費	0	10,000	△ 10,000
会議費	2,800	0	2,800
渉外費	67,240	95,615	△ 28,375
通信運搬費	332,630	428,425	△ 95,795
減価償却費	112,674	115,785	△ 3,111
消耗品費	78,496	68,195	10,301
光熱水料費	132,611	130,825	1,786
賃借料	572,000	612,000	△ 40,000
保険料	0	20,780	△ 20,780
支払負担金	436,474	313,052	123,422
委託費	234,112	234,114	△ 2
雑費	12,460	12,140	320
管理費計	1,981,497	2,040,931	△ 59,434
経常費用計	2,302,040	2,634,382	△ 332,342
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 222,821	△ 287,778	64,957
当期経常増減額	△ 222,821	△ 287,778	64,957
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 222,821	△ 287,778	64,957
当期一般正味財産増減額	△ 222,821	△ 287,778	64,957
一般正味財産期首残高	1,182,173	1,469,951	△ 287,778
一般正味財産期末残高	959,352	1,182,173	△ 222,821
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	959,352	1,182,173	△ 222,821

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は発生していない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）
定率法にて実施している。

②リース資産（所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産）
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法にて実施している。

(2) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引について、通常の売買処理によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当なし。

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし。

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	244,760	112,591	132,169
リース資産	462,000	215,600	246,400
合計	706,760	328,191	378,569

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし。

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし。

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし。

13. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

15. 重要な後発事象

該当なし。

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
その他固定資産	什器備品	152,443	0	20,274	132,169
	リース資産	338,800	0	92,400	246,400
	その他固定資産計	491,243	0	112,674	378,569

財 産 目 録

令和 4 年 12 月 31 日 現在

(単位：円)

貸 借 対 照 表 科 目		場 所・物 量 等	使 用 目 的 等	金 額
(流動資産)				
	普通預金	七十七銀行大河原支店	運転資金として	834,883
流動資産合計				834,883
(固定資産)				
その他固定資産				
	什器備品	ブレジデンシャルリース	管理運営の用に供している	132,169
	リース資産	シャープ複合機	管理運営の用に供している	246,400
固定資産合計				378,569
資産合計				1,213,452
(流動負債)				
	リース債務	シャープ複合機	売買処理を行ったリース契約に基づく支払義務のうち、支払日が1年以内に到来するもの	92,400
流動負債合計				92,400
(固定負債)				
	リース債務	シャープ複合機	売買処理を行ったリース契約に基づく支払義務のうち、支払日が1年を超えて到来するもの	161,700
固定負債合計				161,700
負債合計				254,100
正味財産				959,352

勘定科目残高一覽表

貸借対照表

5. 1. 2 (15:05)

令和 4年12月31日現在

P- 1

[内訳表示方式]

[illegible]

勘定科目残高一覧表

正味財産増減計算書 (一般)

令和 4年 1月 1日～令和 4年12月31日

5. 1. 2 (15:05)

P- 2

[内訳表示方式]

勘 定 科 目 名 (口座名, 取引先名)	コード	前月末残高 (4. 11. 30)	当 月 計 上 額		当月残高 (4. 12. 31)	前年同月残高 (3. 12. 31)	前 年 比
			借 方	貸 方			
新入会員受取入金	4311	0	0	50,000	50,000	10,000	500.0
田中俊男	000380	0	0	10,000	10,000	0	
伊達優介	000381	0	0	10,000	10,000	0	
八巻友和	000385	0	0	10,000	10,000	0	
高橋裕紀	000396	0	0	10,000	10,000	0	
浅野智光	000397	0	0	10,000	10,000	0	
受取入金計		0	0	50,000	50,000	10,000	500.0
正会員受取会費	4321	935,000	460,000	550,000	1,025,000	1,000,000	102.5
大橋 健男	000167	100,000	0	0	100,000	100,000	100.0
樽見元太	000209	0	0	100,000	100,000	100,000	100.0
菅野勝彦	000259	100,000	0	0	100,000	100,000	100.0
齋藤優	000266	100,000	0	0	100,000	100,000	100.0
津田政春	000281	100,000	0	0	100,000	0	
栗原嘉徳	000295	100,000	0	0	100,000	100,000	100.0
濱本紳吾	000347	0	0	100,000	100,000	100,000	100.0
平間俊博	000349	0	0	100,000	100,000	100,000	100.0
鈴木裕介	000351	25,000	0	0	25,000	100,000	25.0
阿部公人	000371	100,000	0	0	100,000	100,000	100.0
田中俊男	000380	100,000	100,000	0	0	0	
伊達優介	000381	110,000	110,000	0	0	0	
斎藤伸一	000382	0	0	100,000	100,000	0	
八巻友和	000385	100,000	100,000	0	0	0	
高橋裕紀	000396	0	100,000	100,000	0	0	
浅野智光	000397	0	50,000	50,000	0	0	
新入会員受取会費	4322	0	0	450,000	450,000	25,000	1800.0
田中俊男	000380	0	0	100,000	100,000	0	
伊達優介	000381	0	0	100,000	100,000	0	
八巻友和	000385	0	0	100,000	100,000	0	
高橋裕紀	000396	0	0	100,000	100,000	0	
浅野智光	000397	0	0	50,000	50,000	0	
賛助会員受取会費	4325	330,000	0	170,000	500,000	680,000	73.5
税理士法人原田会計事務所	000012	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(株)タカヤ	000014	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(有)中央タクシー	000017	10,000	0	0	10,000	0	
大河原町商工会	000021	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
大河原金融団	000027	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
オオヌマ(株)	000028	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
佐藤材木店	000030	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
朝日工業(株)	000031	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
湯浅電気工業所	000033	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
(株)佐藤商会	000036	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(有)京浜金属工業	000037	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(株)大善製作所	000041	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
丸敏建設(株)	000047	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(株)八重樫工務店	000054	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(株)アステム	000056	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(有)丸山商会	000059	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
大河原商業開発(株)	000060	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
株式会社ヒルズ	000089	0	0	20,000	20,000	20,000	100.0
株式会社津田印刷	000090	10,000	0	0	10,000	0	
高橋義宣	000094	10,000	0	0	10,000	0	
佐藤吉尚税理士事務所	000107	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(株)センナンユニフォーム	000112	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(株)木村スタジオ	000139	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0

勘定科目残高一覧表

正味財産増減計算書(一般)

令和 4年 1月 1日～令和 4年12月31日

5. 1. 2 (15:05)

P- 3

[内訳表示方式]

勘 定 科 目 名 (口座名, 取引先名)	コード	前月末残高 (4. 11. 30)	当 月 計 上 額		当月残高 (4. 12. 31)	前年同月残高 (3. 12. 31)	前 年 比
			借 方	貸 方			
(株) 鈴由	000141	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(株) 高橋工務店	000142	0	0	10,000	10,000	0	
森 裕樹	000196	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
玉手建築	000204	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
柴田金融団	000205	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
齋藤貴裕	000219	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
菅野健徳	000234	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
鈴木 孝夫	000236	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
(株)モトキ	000240	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
(有)大規模金工業	000243	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
(株)サクラテック	000250	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
(有)村真	000253	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
自由民主党宮城第三支部	000273	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
伊藤建設工業(株)	000274	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(有)阿部商会	000275	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(有)ケイテック	000276	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(株)加藤精機製作所	000278	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(株)エクセレントショップサイ	000297	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
松浦組	000299	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
ワートスナジー株式会社	000307	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
さくま青果	000309	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
デザインモア	000331	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
花升園	000332	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
岡田石材工業	000356	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
T-farm(高橋亮)	000359	10,000	0	0	10,000	10,000	100.0
(株)オーランドオブチカル	000361	0	0	10,000	10,000	10,000	100.0
受取会費計		1,265,000	0	710,000	1,975,000	1,755,000	112.5
受取寄付金	4361	5,356	0	48,862	54,218	6,587	823.1
(社) 日本青年会議所	000013	5,356	0	-5,356	0	0	
さくら青年会議所卒業生	000151	0	0	5,356	5,356	1,587	337.5
正会員・新入会員	000242	0	0	48,862	48,862	0	
受取寄付金計		5,356	0	48,862	54,218	6,587	823.1
受取利息	4371	1	0	0	1	17	5.9
雑収益計		1	0	0	1	17	5.9
経常収益計		1,270,357	0	808,862	2,079,219	2,346,604	88.6
事業費合計		28,400	292,143	0	320,543	593,451	54.0
会議費	6221	1,360	1,440	0	2,800	0	
渉外費	6222	52,940	14,300	0	67,240	95,615	70.3
通信運搬費	6224	291,860	40,770	0	332,630	428,425	77.6
減価償却費	6263	0	112,674	0	112,674	115,785	97.3
消耗品費	6226	78,496	0	0	78,496	68,195	115.1
光熱水料費	6231	119,787	12,824	0	132,611	130,825	101.4
賃借料	6232	564,630	11,330	3,960	572,000	612,000	93.5
J Cハウス地代家賃	6232A	440,000	0	0	440,000	480,000	91.7
TKCソフトレンタル料	6232C	124,630	11,330	3,960	132,000	132,000	100.0
支払負担金	6236	433,085	3,389	0	436,474	313,052	139.4
日本J C会費	6236A	382,085	3,389	0	385,474	22,596	1705.9
東北青年フォーラム実行委員	6236L	51,000	0	0	51,000	0	
委託費	6238	198,000	36,112	0	234,112	234,114	100.0
雑費	6239	7,070	5,390	0	12,460	12,140	102.6
その他管理費計		1,747,228	234,269	0	1,981,497	2,030,931	97.6
管理費合計		1,747,228	234,269	0	1,981,497	2,040,931	97.1
経常費用計		1,775,628	526,412	0	2,302,040	2,634,382	87.4
評価損益等調整前当期経常		-505,271	0	282,450	-222,821	-287,778	

勘定科目残高一覧表

正味財産増減計算書(一般)

5. 1. 2 (15:05)

令和 4年 1月 1日～令和 4年12月31日

P- 4

[内訳表示方式]

[illegible]

勘定科目残高一覧表

正味財産増減計算書(事業収益・費用)

5. 1. 2 (15:05)

令和 4年 1月 1日～令和 4年12月31日

P- 5

[内訳表示方式]

[illegible]

監 査 報 告 書

当一般社団法人さくら青年会議所の 2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までの
2022 年事業年度の会計監査及び業務監査を行い、ここに報告致します。

1 監査方法

- (1) 会計監査については、会計帳簿並びに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、事業報告書、並びに財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録、収支予算書等の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 事業報告の内容は、真実であると認める。
- (2) 財務諸表等は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産並びに正味財産の増減状況を正しく示しており、法令、定款、公益法人会計基準に従い適正であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為、又は、法令若しくは定款に違反する重大な過失は無いと認める。

以上

2023 年 1 月 12 日

一般社団法人さくら青年会議所 2022 年度監事

監事

津田春智



監事

赤間竜樹



一般社団法人さくら青年会議所 2023年度組織図

国際青年会議所

公益社団法人 日本青年会議所

公益社団法人 日本青年会議所東北地区協議会

公益社団法人 日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会

顧問

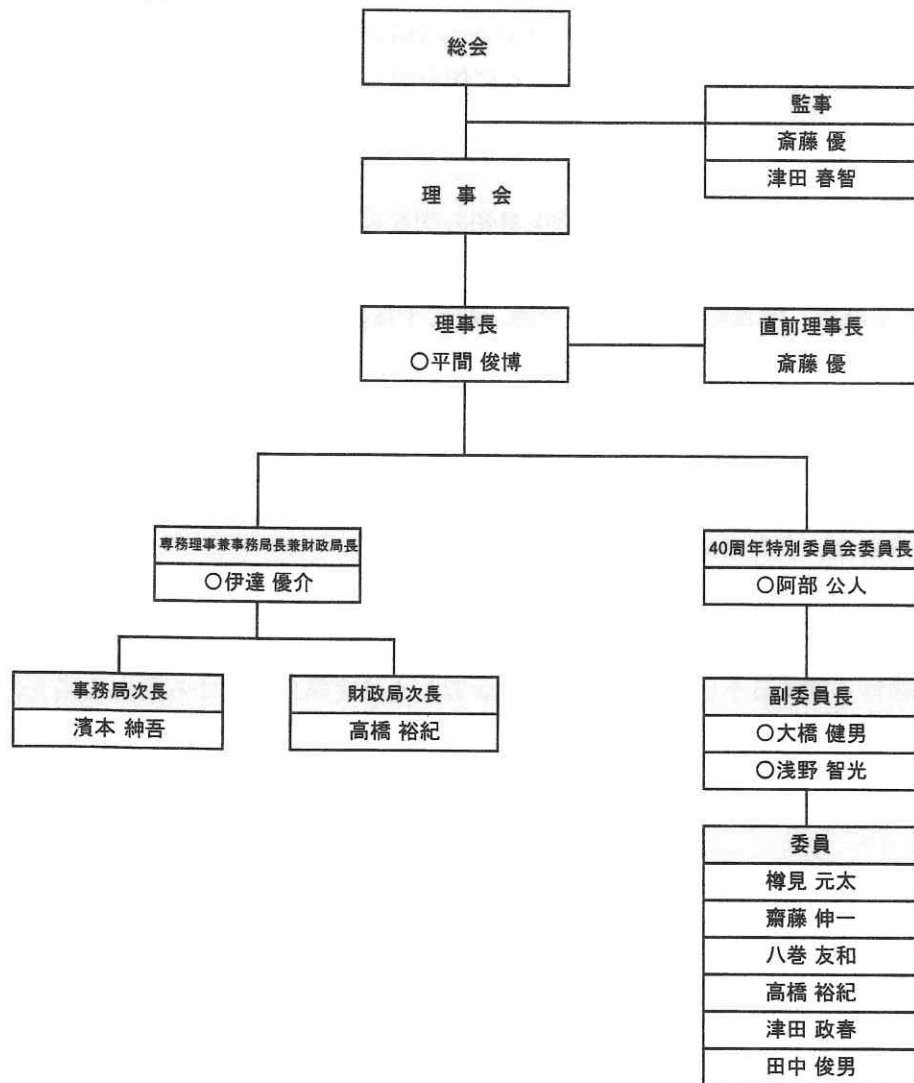
柴田町長

大河原町長

村田町長

川崎町長

理事5人(○理事)



(公社)日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会

宮城ブロック協議会＜委員会名＞	役職	出向者名
みやぎJCアカデミー委員会	副委員長	大橋 健男
みやぎJCアカデミー委員会	委員	浅野 智光
みやぎJCアカデミー委員会	委員	八巻 友和
ブロック大会運営委員会	委員	樽見 元太

理事長所信

【はじめに】

一般社団法人さくら青年会議所（大河原青年会議所）は創立以来 40 年間絶えることなく、率先して道を切り拓き、時代とともに変わりゆく地域社会の未来を常に見据え、その歩みを進めてきました。そして、「まちづくり」として地域社会の課題を解決する運動を展開し、青年らしい議論と大胆な視点と行動を重ねることで「ひとづくり」が成され、この地域に数多のリーダーを輩出してきました。「不連続の連続」の歴史は 2023 年の今も脈々と受け継がれています。我々は先達皆様が創り上げてきた文化や伝統の意志を継ぎ、今日も明日も『この地域に何が必要なのか』を常に考え、行動し運動を発信していかなければなりません。

【未来の子供達に残せるまちづくり】

私たちの運動はなんのためにあるのでしょうか。次代につながるさくらの地域をつくるためです。我々を含む地域の方々が医療、福祉、行政サービスなど、全てに『充実』を感じ、この地域で生まれ育った子供たちが笑顔の中で健やかに育つ未来のために私たちがすべきことは同じ生活行動圏内にある柴田町、大河原町、村田町、三町を一つに集約し、『あたらしい街』を創りあげることではないでしょうか。私たちの先輩は三町合併の実現を目指して合併推進運動を展開してきましたが、柴田町、大河原町、村田町の合併には至りませんでした。さくら市の誕生は実現しませんでした。行政に先駆けてひとつになった創始の理念に変わりはありません。多様化する住民ニーズへの対応 住民の価値観の多様化、技術の発展などに伴い、住民が求めるサービスも多様化し、高度化しています。そのため大きな自治体規模に集約することにより、効率的かつ安定的な行政、財政の運営が可能になり、多様化・高度化する行政へのニーズへ迅速・的確に対応していくことが必須ではないかと考えます。青年会議所は地域住民と行政の架け橋となり双方の身近な関係性を築き、私たちを含めた一人ひとりの地域住民が課題解決に向け行動できる人材をより多くつくることでこの地域を持続可能なものに導けます。そして、持続可能な地域になるため、将来にわたって継続し、より発展に導ける長期的な視点で課題を捉えることが必要です。そのために最適なツールとして SDGs があります。SDGs の根幹にある「持続可能な開発」とは、「将来世代のニーズを損なうことなく、現代世代のニーズを満たす開発」のことを指しています。SDGs には、あらゆる分野における課題と長期的な視点での解決策が詰まっており、私たちが歩むべき道しるべとなります。SDGs を活用し地域とともに実践することで、私たちが目指すまちづくりを実現しましょう。

【40 年の歴史を知り新たなさくら青年会議所へ】

私たちは先輩諸兄が携わってきた情熱の積み重ねに改めて深く感謝し、地域における各諸団体や各地会員会議所の同じ志をもつ仲間たちと成長することにより、厚い信頼を寄せ地域社会を牽引する団体へとなり、創立 40 周年という大きな節目を迎えることとなりました。

また、さくら会議所の存在意義を再認識し、私たちが行う「まちづくり」「ひとづくり」の運動が地域の未来を創造することにより自信と誇りを持ち、受け継いできた理念や思想をしっかりと次の世代へ引き継いでいきます。ただ単に過去を振り返る機会としてではなく、感謝と尊敬を忘れずに、会員一人ひとりが地域社会を結ぶ接点である事を認識し、過去と今そして未来をその全てを大切な役割と考え運動を展開してまいりましょう。

この節目を、次なる目標に向け新たな時代へ踏み出す確かな一歩とする為に、さくら青年会議所 40 年の礎を更に強固なものとし、組織が一丸となることを目指していきましょう。

【時代に即した会員拡大】

地域に対する影響力を高め、信頼ある積極的な青年会議所運動を展開し続けるためにも、同じ志をもつ多くの仲間が必要です。私達の周りには地域の未来のために行動を起こす仲間が必ず存在するはずです。まちや地域住民のために真摯に運動に取り組む会員の姿が共感を生み出し、自ずと仲間の拡大に繋がり、存在価値のあるさくら青年会議所へとつながります。将来のさくら青年会議所をつくりあげるうえで、地域の問題や課題を見だし、その解決策に導く「英知」と人のために行動を起こす「勇氣」、地域の変革者となる「情熱」の 3 つの力を合わせ持つ人材の育成が必要です。お互いにぶつかり合いながら、本気で成長し価値観を認め合い協調すること、時代に即した価値観のもと自己の成長の機会を与えることが、青年会議所会員としての資質の向上と地域の能動者として行動を起こす人材へと変革を遂げます。

【結びに】

我々青年会議所メンバーは仕事の時間を割き、家族との時間を割き、有限な時間を青年会議所活動に充てています。時間を惜しまず、周到に準備した内容の事業であっても時には失敗する事もあるかもしれません。しかし、私たちは十二分に議論を交わし、誰に恥じることなく、そしてたった一人であっても誰かのためになるのであれば失敗を怖れず行動していく事に価値があると考えています。

正しさは時に立場や状況によって形を変えます。私たちはその都度、自らの行動を選択していかねばなりません。その選択で葛藤・失敗といった経験が得られ、経験の糸をつむぎながらその糸は太く頑丈に、そして様々な彩りにより個性が生まれ、その人の魅力になっていくのです。本年、一般社団法人さくら青年会議所は強靱かつ魅力的な組織へと更なる変貌を遂げていくと確信します。

スローガン

toU～想いを繋げよう～

基本方針

- ・過去の三町合併運動の検証
- ・地域社会と連携した持続可能なまちづくり事業の実施
- ・40 周年記念式典および記念事業の実施
- ・時代に即した会員発掘と 100%拡大の実施

40 周年特別委員会基本方針

～みらいへ繋ぐ創始の精神～

40 周年特別委員会 委員長 阿部 公人

2023 年、さくら青年会議所は創立から 40 周年を迎えます。1983 年の大河原青年会議所の創立から、先輩諸兄の熱い情熱と弛まぬ努力の積み重ねがあつてこそその今日であり、そうして創り上げてきた文化や伝統の意志に深い感謝と敬意を表し、さくら青年会議所としての創始の精神を、さらに 10 年後 20 年後の次の世代へ繋いでいき、全ての住民が希望を持てる地域にすることが、大きな節目を迎える私たちの使命であります。

まずは、現役会員が創立 40 周年という大きな節目の年を迎えるにあたって、先輩諸兄がこれまで積み上げてきた歴史や運動を振り返り、学びと理解を深める機会を提供する事で、創立 40 周年の運動に向けて会員全体の意思統一を図ります。そして、40 年の歩みの中で先輩諸兄から受け継ぐ変わらぬ創始の理念、「三町合併構想」について改めて現代に合わせた検証を行い、私たちが地域の現状や将来性について十分な理解をできる機会を提供します。さらに、私たちが「三町合併」の必要性を具体化し、持続可能な地域に導いていくことで、地域住民が自らの地域の実情を理解することができ将来に対して主体性を持って向き合える機会を提供します。また、これらの運動から、地域全体の機運を合併に向けて高め、「三町合併構想」を通して、小さな町では解決困難な事象も大きな集合体となることで効率的な行政・財政の運営が可能となる『あたらしい街』の実現に向けての地域住民の思いや声を行政に届け、将来に対して希望を持てる地域を生み出してまいります。

創立 40 周年の節目を迎えたさくら青年会議所の運動が、地域社会を輝かしい未来へ導くために行政と地域住民との架け橋となるべく、私たち大人世代が子供たちに夢を語り、未来に聞こえるような事にでも果敢に挑戦できるような、地域社会において本来あるべき姿を実現します。

<事業計画>

1. 三町合併運動の検証と推進事業
2. 40 周年記念式典および記念事業の実施

2023年度一般社団法人 さくら青年会議所収支予算

収入の部

(単位/円)

款	項	2022予算	2023予算	摘要
会費	正会員会費	¥1,500,000	¥1,200,000	100,000円×12名
	休会員会費	¥0	¥0	
	新入会員会費	¥0	¥300,000	10万円×3名
	特別会員会費	¥0	¥100,000	
	賛助会員会費	¥740,000	¥730,000	10,000円×73名
入会金	新入会員入会金	¥50,000	¥30,000	30,000円×3名
その他	雑収入	¥0	¥0	
	宮城ブロック大会登録費	¥0	¥0	
	新年式典登録料	¥0	¥0	
	前期繰越金	¥1,182,173	¥1,000,000	
	合計	¥3,472,173	¥3,360,000	

支出の部

(単位/円)

款	項	2022予算	2023予算	摘要
負担金	日本JC会費	¥105,000	¥90,000	基本30,000円+(5,000円×12名)
	JCI会費	¥18,900	¥15,120	1,260円×12名
	東北地区協議会会費	¥27,500	¥23,000	基本5,000円+1,500円×12名
	国際協力資金	¥27,375	¥21,900	1,825円×12名
	出向者負担金	¥0	¥0	
	地区出向者負担金	¥0	¥0	
	宮城ブロック協議会会費	¥102,250	¥83,800	基本10,000円+6,150円×12名
	宮城ブロック大会登録費	¥0	¥0	
	東北青年フォーラム大会費	¥0	¥0	
	計	¥281,025	¥233,820	
購読料	WE BELIEVE購読料	¥45,000	¥36,000	3,000円×12名
	計	¥45,000	¥36,000	
事務管理費	JCハウス家賃	¥480,000	¥240,000	20,000円×12ヶ月*2023年1月より
	通信費	¥120,000	¥48,000	電話、郵送、WEB会議等
	HP管理費	¥112,000	¥112,000	WEB制作(70,000)管理費(3,500×12ヶ月)
	備品・消耗品	¥30,000	¥30,000	コピー用紙、トナー代、事務消耗品等
	リース費	¥92,400	¥92,400	シャープファイナンス(株)(7,700×12ヶ月)
	印刷費	¥13,200	¥12,000	
	外部委託費	¥189,000	¥189,000	佐藤吉尚税理士事務所
	水道光熱費	¥50,000	¥0	電気、水道、灯油等
	登記申請手数料	¥35,000	¥35,000	
	雑費	¥20,000	¥10,000	手数料等
	計	¥1,141,600	¥768,400	
会議費	総会費	¥70,000	¥125,000	会場費等(62,500円×2回)
	会議費	¥0	¥108,000	36会議分×3,000円(大河原中央公民館使用/雑費含む)
	新年式典	¥0	¥0	
	計	¥70,000	¥233,000	
事業費	地域づくり委員会	¥300,000	¥0	
	青少年育成委員会	¥300,000	¥0	
	40周年特別委員会	¥0	¥1,000,000	35周年目予算から参考にしております
	計	¥600,000	¥1,000,000	
その他	渉外費	¥20,000	¥40,000	ご祝儀、慶弔見舞金等
	LOM手帳	¥0	¥0	
	スローガン横断幕	¥5,500	¥0	
	各種大会参加費助成金	¥0	¥0	
	会員慶弔費	¥10,000	¥50,000	
	予備費	¥0	¥0	
	基本金繰入金	¥0	¥0	
	プレジデンシャルリース刻印代	¥0	¥8,800	4代分×2,200円
	卒業者記念品	¥24,000	¥36,000	3名×12,000円
	備品購入費	¥6,000	¥6,000	
	次期繰越金	¥1,334,548	¥1,052,980	
	計	¥1,400,048	¥1,193,780	
	合計	¥3,472,173	¥3,360,000	